

3-2 金勝川

視察日：平成30年3月8日(木)

金勝川は草津川の支流であり、
流域面積20.93 km²、河川延長10.39 kmである。

水源地

観音寺集落の25世帯71人（平成30年3月1日現在）の簡易水道の水源地でもあり、栗東市内で水道供給のための経費が一番高くなっている。

平成25年の台風第18号では土砂崩れにより簡易水道施設も埋まったため断水が起こり、周辺の市にも協力していただき、3か月間給水車で給水を行った。

この辺りは平地に比べ気温が平均3度程低いため、冬場は取水した水が管内で凍ることもあり、その時は給水車で給水を行っている。

九品の滝（穴口川）

高さ20m、溪流含め長さ100m。明治時代までは、近くの集落名と同じ井上滝といわれ、この川も井上川といわれていたが、大正13年に金勝保勝会により水流が3段3脈あることから、仏教用語の九品になぞって九品の滝と命名された。

金勝小学校裏（細川）

毎年夏に栗東市と滋賀大学環境学習支援士会との共催で、親子を対象とした環境学習会が開催されている。

目川池

車窓から観察。現在水を抜いて護岸の工事をしている。

目川・高橋

平成25年の台風第18号による記録的豪雨（累計雨量436mm、時間最大雨量43mm）により、金勝川の堤防が決壊し甚大な被害があった。現在、堤防・川底は、綺麗に修復工事がされている。

草津川との合流点

平成14年に新草津川と接続され、当初は金勝川と新草津川との大きな落差から階段式の落差になっていたが、現在は金勝川の低床化により落差は小さくなっている。

